

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	株式会社オンザライズ
住所	広島県広島市西区三滝町9番24号 三滝町ビル
電話番号	082-962-7390

事業所番号	3410209443
管理者名	近藤 直哉
対象年度	令和4年度

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		70 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	40 点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(III) 多様な働き方（※）		
◎ ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
②利用者を職員として登用する制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		○
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計（注1）		7
		点

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(IV) 支援力向上（※）		
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった		
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		○
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		○
いずれか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている		
④販路拡大の商談会等への参加		○
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ⑤職員の人事評価制度		○
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		○
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		○
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		○
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		8
		点

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(V) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
		1事例以上ある場合：10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	70
生産活動	5点	20点	25点	40点	40点				40
多様な働き方	0点	15点	25点	35点	25点				25
支援力向上	0点	15点	25点	35点	35点				35
地域連携活動	0点	10点	10点						10

合計		180	点	/ 200点
----	--	-----	---	--------

## 就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

## (Ⅰ) 労働時間

前年度（令和4年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	14,080	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,026	人	利用者の1日の平均労働時間数	6.9	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

## (Ⅱ) 生産活動

会計期間（9月～8月）

前々年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	21,572,105	円	利用者に支払った資金総額	19,186,602	円	収支	2,385,503	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	19,051,817	円	利用者に支払った資金総額	18,671,242	円	収支	380,575	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

## (Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和4年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

## ① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	5名
※取得を進めた免許等：	ビルクリーニング技能士1級・3級
制度の活用内容：	社内研修（筆記・実技） 資格手当を支給

## ② 利用者を職員として登用する制度

② 職員として登用した人数	0名
③ うち1名は雇用継続期間が6月に達している	<input type="checkbox"/>
④ うち1名は前年度末日まで雇用継続している	<input type="checkbox"/>
※登用した日	年 月 日
勤務形態：	
就業時間：	時 分～時 分
職務内容：	

## ③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③ 在宅勤務を行った人数	0名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（在宅勤務）：	時 分～時 分
職務内容：	

## ④ フレックスタイム制に係る労働条件

④ フレックスタイム制を活用した人数	0名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（コアタイム）：	時 分～時 分
職務内容：	

## ⑤ 短時間勤務に係る労働条件

⑤ 短時間勤務に従事した人数	0名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（短時間）：	時 分～時 分
職務内容：	

## ⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

⑥ 時差出勤制度を活用した人数	0名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（早出の場合）：	時 分～時 分
就業時間（遅出の場合）：	時 分～時 分
職務内容：	

## ⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	8名
※取得した制度	有給休暇の時間単位取得 <input type="checkbox"/>
	計画的付与制度 <input checked="" type="checkbox"/>
取得した期間：	5月2日
取得日数・時間	1日 時間

## ⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

⑧ 傷病休暇等を取得した人数	0名
※取得した内容：	
取得した期間：	月 日～月 日
就業時間：	時 分～時 分
職務内容：	

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

## (Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和4年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

## ① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修実施回数	外部 6回 / 内部 回
対象職員数	5人
うち研修受講者数	5人
※研修名	令和4年度広島県障害者虐待防止・権利擁護研修
研修講師	広島県健康福祉局障害者支援課 伊藤様ほか5名
実施日・受講者数	1月 31日 5人

## ② 研修、学会等又は学会誌等において発表

② 研修、学会等又は学会誌等において発表	2回
※研修、学会等名	令和4年度芽室町障害者雇用セミナー
実施日	11月 28日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

## ③ 視察・実習の実施又は受け入れ

③ 視察・実習の実施又は受け入れ	<input checked="" type="checkbox"/>
※先進的事業所の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
※他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※先進的事業所名	㈱JR西日本あいウィル
実施日/参加者数	12月 7日 6人
※他の事業所名	学校法人光の村学園
実施日/参加者数	10月 4・5日 1人

## ④ 販路拡大の商談会等への参加

④ 販路拡大の商談会等への参加	回
※商談会等名	
主催者名	
日時	月 日
内容	

## ⑤ 職員の人事評価制度

⑤ 職員の人事評価制度	<input checked="" type="checkbox"/>
⑥ 当該人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
⑦ 当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日	H31年 4月 1日
人事評価制度の対象職員数	4名
うち昇給・昇格を行った者	0名
当該人事評価制度の周知方法	書面にて周知（就業規則改定のお知らせ）

## ⑥ ピアサポーターの配置

⑥ ピアサポーターの配置	<input type="checkbox"/>
⑦ ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
⑧ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間	月 日～月 日
就業時間	
職務内容	

## ⑦ 第三者評価

⑦ 第三者評価	<input type="checkbox"/>
⑧ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

## ⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等	<input type="checkbox"/>
⑨ 国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社オンザライズ
住 所	広島県広島市西区三滝町9番24号 三滝町ビル
電話番号	082-962-7390

事業所番号	3410209443
管理者名	近藤 直哉
対象年度	令和4年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所： ①Balcom BMW 広島総合グランド ②広島県立大学</p> <p>実施日程： ①毎月一回 ②毎週月・水・金</p> <p>生産活動： 清掃業務</p> <p>利用者数： ①4名 ②4名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p>・ Balcom BMW 広島総合グランド</p>  <p>・ 広島県立大学</p> 
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>地域の人が多く訪れる場所で施設外就労を行い、地域との接点を作り、障がいを抱える方がどのように働いているかを実際に見て頂くことで、利用者への理解を深めてもらい、一般就労に向けて地域側の受け入れやすい環境を作るねらいがある。</p> <p>また、利用者1人1人がどんな作業に適しているか、どのような環境で能力を発揮することができるのか、把握することができ、社会的コミュニケーションスキル向上の訓練となる。</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p><b>成果</b>：アセスメントでは難しいと思われていた社会的コミュニケーションや技術の習得も、訓練を継続することで出来るようになってきている。また、お客様に声をかけていただいたり、作業を見てもらうことで、張感を持って仕事に取り組めるため、一般就労に対する不安が少なくなってきて</p> <p><b>課題点</b>：コロナ禍により、利用者と地域の方々との距離感が遠くなってしまい、社会的コミュニケーションが取りづらくなり、スキル向上の訓練に時間がかかる。また、お客様のクレームや利用者本人の中で失敗事例があると消極的になり、習得した技術やスキルを発揮できなくなる。</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

## 連携した結果に対する意見または評価：

・従業員や施設利用者への挨拶について、たまに返答がない方も居ましたが、全体的に出来ており良い印象を受けています。作業面については、しっかり集中して作業している姿が見受けられ、【几帳面】で【きれい】に作業できており、後片付けなど周囲に迷惑がかからないよう注意しながら作業出来ていると思います。

## 今後の連携強化に向けた課題：

・現状では定期的に連絡を取り合っており、連携は出来ています。

・本人に適した職場環境であっても、契約失効などが発生した場合、再度環境を変える必要があることは大きな問題であると考えられます。

連携先企業名	持続未来株式会社	担当者名	本郷 時彦
--------	----------	------	-------